

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和6年度第6回佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年2月18日(火) 13時30分開会 15時00分閉会
場所	あいぽーと佐渡 多目的ホール
議題	<p>(1)議題</p> <p>①令和7年度事業計画案及び収支予算案について ⇒資料1をもとに事務局から説明。全会一致で承認</p> <p>②佐渡市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正及び 佐渡市運賃等協議会設置要綱の制定・設置について ⇒資料2をもとに事務局から説明。全会一致で承認</p> <p>③両津病院移転に伴うバス停留所の設置について ⇒資料3をもとに新潟交通佐渡から説明。全会一致で承認</p> <p>(2)報告事項</p> <p>①令和6年度事業中間報告について ⇒資料4をもとに事務局から説明。</p> <p>②令和6年度自動運転実証調査事業の報告について ⇒資料5をもとに事務局から説明。</p> <p>③佐渡版ライドシェアの報告について ⇒資料6をもとに事務局から説明。</p> <p>④赤泊線及び前浜線のバス停留所の名称変更について ⇒資料7をもとに新潟交通佐渡から説明。</p> <p>(3)その他 特に無し</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡市観光振興部長 小林 大吾 ・ 新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 村山 優樹 ・ 佐渡地区ハイヤー協会 事務局長 富井 拓郎 ・ 佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部担当部長 本間 裕幸 ・ 新潟交通労働組合佐渡部会 執行委員長 金子 秀道 ・ 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長 新倉 孝礼 ・ 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 塩原 隆太郎 (WEB 参加) ・ 新潟県交通政策局交通政策課長 高橋 徹臣 (WEB 参加) ・ 新潟県佐渡地域振興局 代理：計画専門員 (総括) 東海林 寛雄 ・ 新潟県佐渡警察署 代理：交通管理係長 村上 正明

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・ 佐渡市老人クラブ連合会 副会長 渡辺 政巳 ・ 佐渡市女性団体連絡協議会 会長 本間 清美 ・ 一般社団法人佐渡観光交流機構 事務局長 佐藤 達也 (WEB 参加) ・ 長岡技術科学大学大学院 教授 佐野 可寸志 (WEB 参加)
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0名
備考	報道機関 2社

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
A委員	<p>(1)議題</p> <p>①令和7年度事業計画案及び収支予算案について</p> <p>来年度の事業の島内交通全体を見据えた再構築事業について、具体的にどういったことを行うのか。スケジュール等を含めて、お伺いしたい。</p> <p>また、運転手確保事業のドライバーの募集で見方を工夫するやり方を想定していることがあれば、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>島内交通全体を見据えた再構築事業について、簡単に言うと路線バスを最適化したいということ。今ある路線で乗車の少ないもの、利用がままならない不便な点もあるのでバスの再編という意味で、適切なダイヤ等を専門の業者に診断していただきたいと思っている。もうひとつとしては、バスの減便に伴って代替の交通が必要となるのでバスが減便した地域において地域内でどういう交通が一番合うのか地域ごとにそれぞれ特徴があるので、スクールバスを合わせるや市営のコミュニティバスを複合して様々な交通手段を使って、路線バスの代替となるよう手段をお願いしたいと考えている。</p> <p>スケジュールはこの場で承認いただき、その後市議会の予算等が通った、プロポーザルの公募を始めて、4月中旬ぐらいにはプロポーザルを行い、業者と契約を結びたいと考えている。9月ぐらいに一旦中間報告として、5年後、10年後を見据えた路線バス減便の主なスケジュール感を示していただくものと、また来年度に向けて路線バス等の見直しを出していただきたい。併せて、地域でたたき台となるような地域交通の計画も概要版を出していただいて、そこら辺をもみながら来年の3月に次のスタートを切れるように考えている。</p> <p>運転手の確保につきましては、新潟交通佐渡様と一緒にやらせて</p>

	<p>いただいているところ。しかしながら、情報発信という意味では佐渡市の移住交流施策の一環としてやるのも一つだと思っており、移住交流推進課と連携して UI ターンの方に情報を提供する形で今進めさせていただいている。</p> <p>②佐渡市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正及び佐渡市運賃等協議会設置要綱の制定・設置について ⇒主な質疑等は無し。</p> <p>③両津病院移転に伴うバス停留所の設置について ⇒主な質疑等は無し。</p>
B 委員	<p>(2)報告</p> <p>①令和 6 年度事業中間報告について スクールバスの混乗について。利用実績が 1 名でこの方一人で 25 回の利用があるが、他の方の利用はないのか。</p>
事務局	<p>この場所は赤泊線が通っている場所だが、この方は通院で利用している。周知はしているが、大概の方が乗り合わせて移動されたりしていると聞いている。この方はスクールバスが通るところに住んでいる方なので、スクールバスを使って移動されている状況。</p>
A 委員	<p>8 ページ目の路線バス別収支状況について。赤字路線が多い中で 2 路線だけ黒字なのだが、特別な運行をしているのか。運行回数もそれほど少なくないと思うので、こういった路線でこの数字になっているのか、確認させていただきたい。</p>
新潟交通佐渡	<p>黒字系統はあくまで系統で、実際は 1, 2 本しか走っておらず、学生輸送に特化している。定期券で、乗車密度で言えば、20人、30人の学生がいるということで、学校前で終わる系統で、学生輸送のための朝と夕方 1 回ずつの系統となっている。</p>
A 委員	<p>②令和 6 年度自動運転実証調査事業の報告について 今後に向けての課題として来年度に向けてのポイント、レベル 4 に向けてこういったことになっていきそうか。自動運転バスに関しても地域によっては通年運行を始めていただいている地域もあるので、そういったところも見据えてどこに向かっていくのか、お聞かせいただきたい。地域の方の映像を拝見したが、地域の皆さんの自動運転への期待感を感じる部分があれば、教えていただきたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>今年度の課題は大きく3つ。狭いところでの大型車のすれ違いについては、現行の車ではこれ以上チューニングしても対向から大型車が来るのはどうしても制度の限界があるかと思う。幾分チューニングを高めて令和5年度よりもかなり改善してはいるが、道路幅と車両の大きさが合っていないんだろうなというようなことを感じている。よって、道路を広くするか、もしくは車両を小さくするか、という課題が出ている。その他に35キロの走行による後ろの渋滞の追い越しは、バスベイ等があるので、そこを3Dマップで通過するようにして、一旦バスベイに抜けて後続車を抜かすことは技術的に問題ないと思う。路駐への対応は車線が狭い部分での路駐の回避は今の車両ではなかなか難しいと聞いている。一方である程度車幅がある海岸線で道路改良された広い場所であれば、路駐してあっても今のバージョンアップした車両ならば、ある程度回避できると聞いている。総合的に判断して来年度どういう対策をするかというのは課内で検討しており、また、通年運行については、まずこの課題を解決しないことには通年は難しいと考えている。</p> <p>地元の期待感は小学校に訪問して自動運転の車両を説明したときに先生方をはじめ、子どもたちにもかなり喜んでいただき、期待もされている。また、アンケートの中でも自動運転を応援したいということもそれなりの数値をいただいているので、そういうところも加味すると、住民の方としては今後路線バスの運転手が少なくなっていく中で新たな交通として期待を寄せられているんだろうなと感じている。</p>
<p>A委員</p>	<p>③佐渡版ライドシェアの報告について</p> <p>実証事業をやっていただき、スケジュール的にイメージするところとしては次のハイシーズンに向けてどんな対応をしていくか、というところを考えたうえで実証調査なのか、あるいはまた別のやり方なのかというところを再検討して進めていくという認識でよろしかったか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ライドシェアについては来年度も実施予定。3月の議会で予算が議決されれば、早急に動きたいと思っている。実証調査事業として、どれぐらい過不足があるか、どのような課題が生じるか、という調査だったが、そこも踏まえて、令和7年度は早くてもゴールデンウィークから連休が続く11月の紅葉シーズンを含めて実施したいと思っている。相川の需要が特に多かったので今相川のドライバーは3人いるが、そこを倍ぐらいに増やすことでドライバーの負担も減ると思う。相川地区の方で協力していただける方がいれば、お客さんが注</p>

A 委員 事務局	<p>文してもすぐ配車できるというようなメリットもあるので、そういう点も踏まえて計画したいと思っている。</p> <p>10名のドライバーはどういった方が参加されたのか。</p> <p>佐渡市で募集チラシを作り、公募をした。公募する中で年齢制限が70歳未満、事故歴、健康状態等を条件にさせていただいた。10名募集のところ、10名募集があった。新潟交通佐渡様、おけさ観光タクシー様に運行管理をしていただくことだったので、タクシー事業者様も含めて面接を行い、実施したところ。ほとんどの方が60代の方だった。</p> <p>ライドシェアについて報告させていただいたが、今年度は自家用有償旅客運送協議会にてライドシェアを協議させていただいた。これは実証調査事業ということもあり、そこで議論させていただいたが、令和7年度は期間を延ばして本格運行するので、この協議会でライドシェアについて3月の議会で予算が通った後に書面協議をさせていただきたい。</p> <p>④赤泊線及び前浜線のバス停留所の名称変更について ⇒主な質疑等は無し。</p> <p>以上、閉会</p>
-------------	---